

令和8年度 学校運営協議会委員研修会

参加者：98名

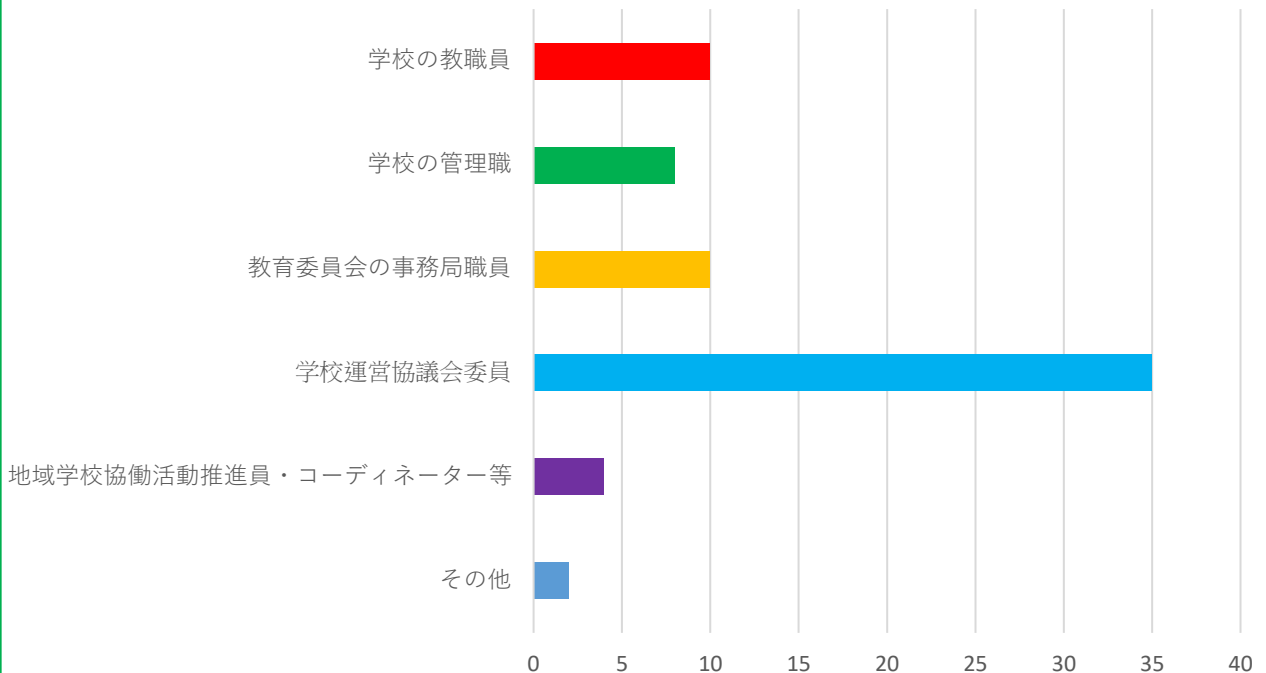
(参集：39名 オンライン：46名

登壇者：3名 事務局：10名)

アンケート集計結果

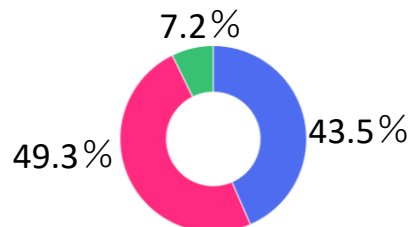
(アンケート対象者87名に対して回答69名 回収率79.3%)

1. 参加者の所属、職種について



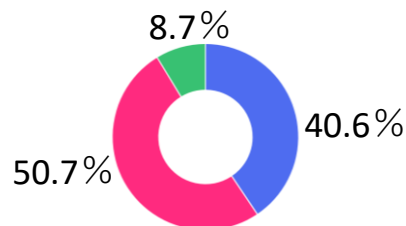
2. 学校運営協議会制度について、理解できましたか？

よく理解できた	30
だいたい理解できた	34
あまり理解できなかった	5
理解できなかった	0



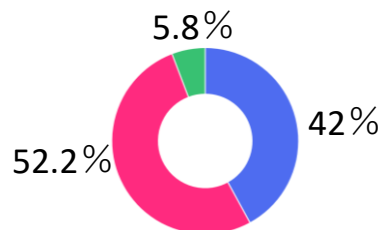
3. コミュニティ・スクールを充実させるための重要なポイントが理解できましたか？

よく理解できた	28
だいたい理解できた	35
あまり理解できなかった	6
理解できなかった	0



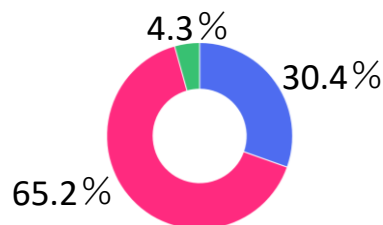
4. 講演等を聞いて、コミュニティ・スクール、地域学校協働活動を一層推進しようと思いましたか？

大いにそう思う	29
おおむねそう思う	36
あまり思わない	4
思わない	0



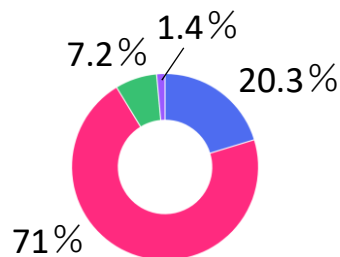
5. 自校・自地域の学校運営協議会の現状や課題について考えることができましたか？

大いにそう思う	21
おおむねそう思う	45
あまり思わない	3
思わない	0



6. 学校運営協議会で取り組みたい具体的な活動や改善の方向性をイメージすることができましたか？

大いにそう思う	14
おおむねそう思う	49
あまり思わない	5
思わない	1



ご意見・ご感想

① 事例発表・講演内容について

北山村の事例発表について、「具体的で参考になった」「当事者意識を持たせる仕組みが重要だと感じた」「充て職からの脱却や地域の強みを生かした取組が参考になった」などの意見が多く見られた。また、大門マイスターの講演についても、「学校と社会が乖離してはならないという考えに共感した」「広い視野からの話が刺激になった」「地域づくりや産官学連携の可能性を感じた」といった感想が見られた。

② 学び・気づきについて

「当事者意識」「主体的な参加」「学校・保護者・地域の協働の重要性」などについて、多くの学びや気づきが得られたという声があった。また、「次世代の育成や地域の活性化につながることを再認識した」「自分事として捉え、実践につなげていきたい」といった前向きな意見も見られた。

③ 交流・情報共有グループ交流について

「さまざまな立場の方と意見交換ができた」「近隣地域の状況を知ることができた」「参加者同士の交流が有意義だった」という声があった。一方で、「もっと参加者同士で話す時間がほしかった」「他校や他地域の取組を知る機会を増やしてほしい」といった意見も見られた。

④ オンライン配信・運営について

オンライン配信については、「現地参加が難しい中で大変ありがたかった」と好評であった。一方で、「オンライン参加者同士でも意見交換できる場がほしかった」「質問できる仕組みがあるとよかった」といった要望も寄せられた。

⑤ 今後への要望・課題について

「より具体的な実践事例を知りたい」「CSの定義や基礎的な説明を最初に聞きたかった」「講演内容が盛りだくさんで理解が追いつきにくい部分があった」「もう少し時間を長くしてほしい」などの意見が見られた。また、学校運営協議会の委員選任や活動の周知などを課題としてあげる意見もあった。